

# 兵庫県 のり漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2021年11月29日発行  
 兵庫のり研究所

県下全域で大型珪藻コシノディスカスが発生していますが、今回調査では減少していました。そのため、窒素は大阪湾水の影響が見られる明石海峡部で概ね3  $\mu\text{g at/L}$  台、陸水の影響により特異的に高い地点を除き、下げ潮時の調査ということもあり、地先で概ね2~3  $\mu\text{g at/L}$  台、沖筋で1  $\mu\text{g at/L}$  前後の値でした。

(水温) 漁場内平均16.5 $^{\circ}\text{C}$ 。平年より1.3 $^{\circ}\text{C}$ 低く、昨年より1.9 $^{\circ}\text{C}$ 低い。(塩分) 平均31.19psu。前回(31.36)より0.17psu低い。

(珪藻) 各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。

林崎~別府漁場の地先で500~750細胞(前回値:1500~2800細胞)、沖筋で500~600細胞程度(前回値:900~1300細胞前後)大阪湾水の影響が見られる明石海峡部で300細胞(前回値:750細胞)であった。コシノディスカスの色素は薄くなっており、活力が低下していると思われる。

高砂~伊保・白浜漁場では、地先で400程度細胞(前回値:2600細胞)、沖筋で250細胞(前回値:1800細胞)であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	17.6	16.5	17.8	18.4
窒素	1.5	2.3	7.0	3.0
リン	0.32	0.41	0.64	0.49

(11/25)

(11/26)

※窒素の平均は別府を除く

### 西播地先

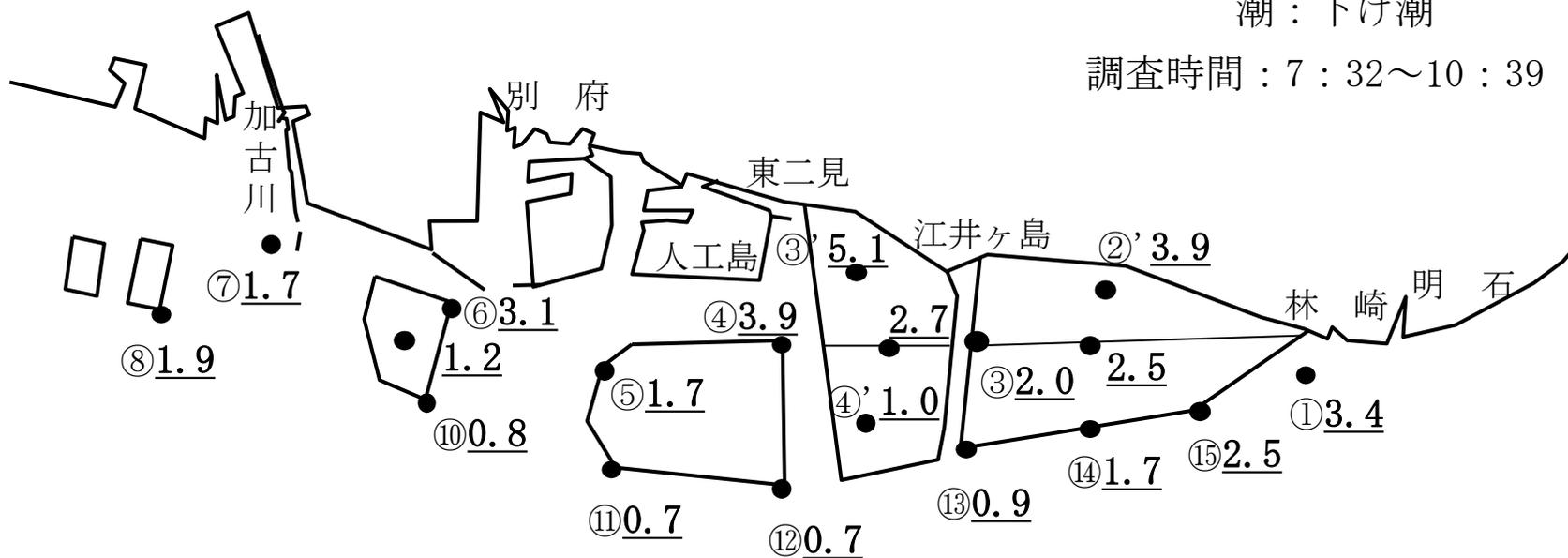
伊保 地	水温	16.9 $^{\circ}\text{C}$	伊保 沖	水温	16.8 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	0.8		窒素	0.8
	リン	0.39		リン	0.37
白浜 地	水温	16.7 $^{\circ}\text{C}$	白浜 沖	水温	16.6 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	1.2		窒素	1.1
	リン	0.40		リン	0.40

2021年11月29日調査

### 栄養塩(窒素) 図

潮: 下げ潮

調査時間: 7:32~10:39



### 水温図

